

第16回 京都経済人会議

京都企業のトップが集い、業界の垣根を越えて地域の経済や課題について意見を交換

令和6年8月27日開催
50名参加

テーマ

京商の磁力を活かした新価値創出

16回目の開催となる今回は、昨年の文化庁京都移転や来年に迫る大阪・関西万博を契機とし、「観光振興策」「都市デザイン」「文化と産業の循環」の3つの視点から、京都の強みを活かした誘客や産業創出のアイデアを出し合いました。

京都商工会議所ではこの会議の議論を参考に、今後の事業や要望・提言活動に取り組んでまいります。



観光振興策に関する主な意見・提案

- ＝ 混雑解消は、時間帯やエリア等多面的に分散化を図る取り組み、特にナイトタイムエコノミーに注目したい。京都の夜ならではの特別な観光体験を、新たな“おもてなしの形”として創出し、持続可能な観光コンテンツを開発・提供することが重要。
例) 納涼床の営業時間延長、
修学旅行生向け夜間文化体験
- ＝ 時間帯によって入場料を変える等ダイナミックプライシングの導入で観光収入増とオーバーツーリズム対策を両立。
- ＝ 体験を重視した観光ツアーは、他観光地との差別化に有効。
例) 伝統工芸体験を通じた地元住民との交流、
農業体験ツアー(アグリツーリズム)
- ＝ 大阪・関西万博を見据え、玄関口となる京都駅における周遊モデル等、観光情報の発信が必要。
- ＝ 外国人観光客が増加する一方で、日本人観光客が減少している。日本人が何度も訪れたいくなるよう、魅力の再構築と発信強化が必要。



